

「原爆体験者等健康意識調査報告書」等に関する検討会
「原爆体験者等健康意識調査報告」の検証に関するワーキンググループ
開催要綱

1 目的

「原爆体験者等健康意識調査報告書」等に関する検討会において、広島原爆の放射線による健康影響について、科学的な検証を行ってきたところであるが、その中で、「原爆体験者等健康意識調査報告」について、更に掘り下げた検討が必要とされたことから、ワーキンググループを開催し、検証を行うものである。

2 検討内容

- (1) 健康影響に関する調査について
- (2) 黒い雨の降雨時間の地理分布に関する調査について
- (3) その他

3 構成員

- (1) ワーキンググループの構成員は、別紙に掲げる者とする。
- (2) ワーキンググループの構成員のうち1名を座長とする。
- (3) ワーキンググループには、必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

4 運営方法

- (1) 議事は非公開とする。(個人が特定されるおそれのある情報や、公表を前提としていない情報を扱うため。)
- (2) 庶務は、厚生労働省健康局総務課原子爆弾被爆者援護対策室において行う。
- (3) 本要綱に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、ワーキンググループにおいて定める。

「原爆体験者等健康意識調査報告書」等に関する検討会

「原爆体験者等健康意識調査報告」の検証に関するワーキンググループ

構成員

- 飛鳥井 望 東京都医学総合研究所副所長
- 大瀧 慈 広島大学原爆放射線医科学研究所教授
- 笠置 文善 放射線影響協会放射線疫学調査センター長
- 川上 憲人 東京大学大学院医学系研究科教授
- 金 吉晴 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター研究所部長
- 佐藤 健一 広島大学原爆放射線医科学研究所准教授
- 柴田 義貞 長崎大学特任教授
- 横田 賢一 長崎大学大学院専任技術専門職員